

大竹市の現状 ・ 令和5年度事業説明

令和5年6月3日

大竹市 危機管理課

次 第

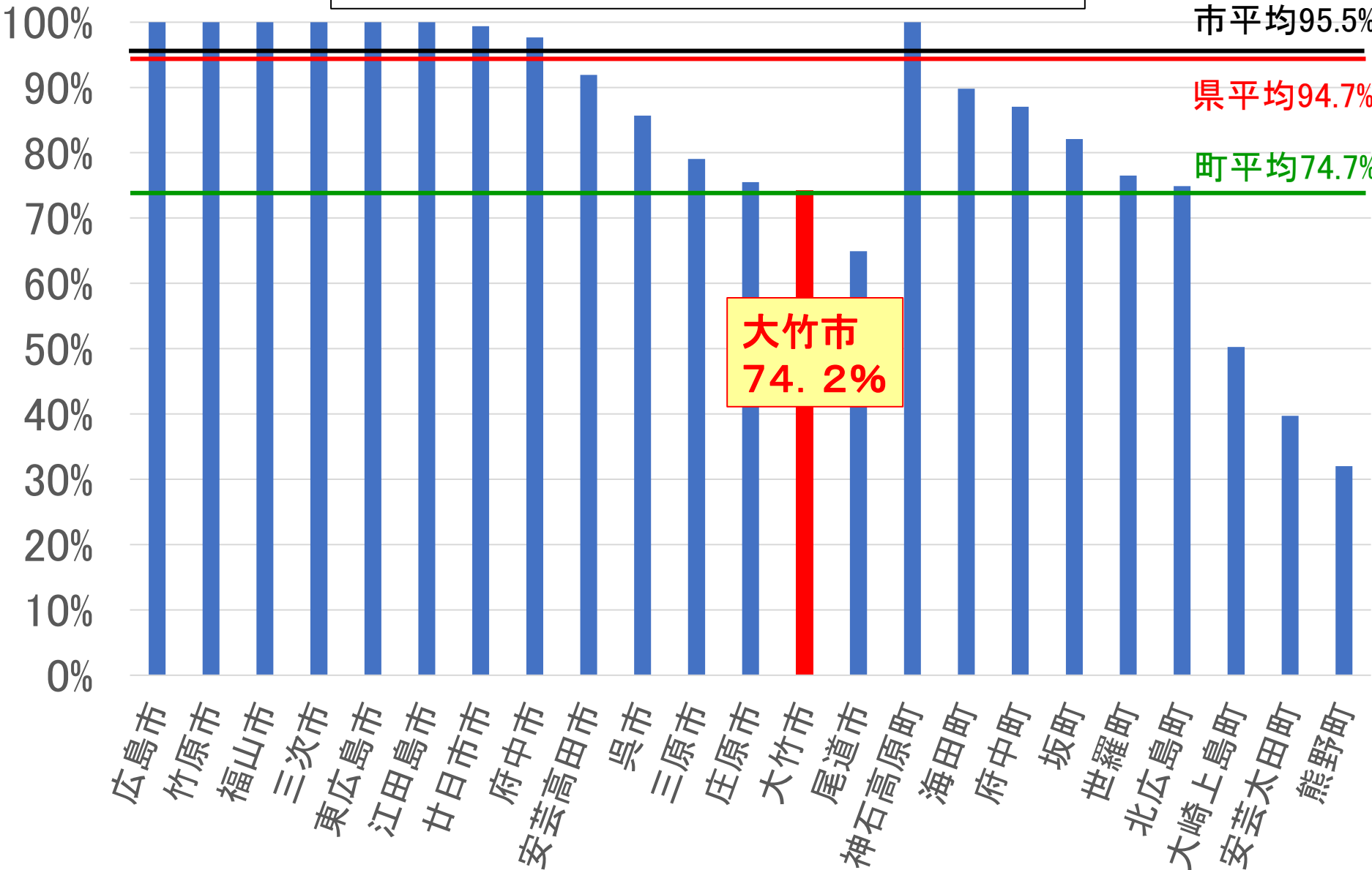
- 大竹市の現状
 - 自主防災組織（設立状況 県・市）
 - 避難の呼びかけ体制（大竹市の状況）
- 令和5年度 事業説明
 - 自主防災組織設立支援
 - 呼びかけ体制 集合型訓練（終了）
 - 呼びかけ体制 ステップアップ訓練
 - 個別対応
 - 防災リーダー
 - 助成制度

自主防・設立状況(広島県)

R4.4.1現在
市平均95.5%

県平均94.7%

町平均74.7%



大竹市の現状 自主防災組織

自主防・設立状況(大竹市)

		土砂災害警戒区域			計
		あり	なし	対象外	
自主防災組織	設立済	29	11	1	41
	未設立	12	5		17

R5.4.1現在

自治会		自主防災組織		土砂警戒区域	自治会		自主防災組織		土砂警戒区域	自治会		自主防災組織		土砂警戒区域								
番号	組織名	番号	○あり ×未	あり なし	番号	組織名	番号	○あり ×未	あり なし	番号	組織名	番号	○あり ×未	あり なし								
◎ 木野連合会					◎ 小島地区連合					◎ 新陽台(なし)					◎ 玖波連合会							
1	木野1丁目		×	あり	20	南栄3丁目	13	○	なし	41	御園台	19	○	あり	56	玖波1丁目	28	○	なし			
2	木野2丁目		×	あり	21	西栄2丁目				21	西栄2丁目		×	あり	57	玖波2丁目		×	なし			
◎ 元町連合会					22	西栄3丁目				22	西栄3丁目	◎ 黒川連合会					58	玖波3丁目		×	あり	
3	元町1丁目	1	○	あり	23	東栄1丁目				23	東栄1丁目	43	黒川1丁目	20	○	あり	59	玖波4丁目	29	○	あり	
4	元町2丁目	2	○	あり	24	北栄	24	北栄	44	黒川2丁目	44	黒川2丁目	60				玖波5丁目	30	○	あり		
5	元町3丁目		×	あり	25	東栄県営	14	○	なし	45	黒川3丁目東	45	黒川3丁目東				61	玖波6丁目		×	あり	
6	元町4丁目	3	○	あり	26	北栄県営	15	○	なし	46	黒川3丁目西	46	黒川3丁目西				62	玖波7丁目	31	○	あり	
7	本町1丁目		×	なし	◎ 立戸連合会					47	港町1丁目	21	○	なし	63	玖波8丁目	32	○	あり			
8	本町2丁目	4	○	なし	27	立戸1丁目	16	○	あり	48	港町2丁目		×	なし	64	大人原.大迫	33	○	あり			
9	白石1丁目	5	○	あり	28	立戸2丁目				28	立戸2丁目	◎ 川手連合会					65	湯舟町		×	あり	
10	白石2丁目	6	○	あり	29	立戸3丁目南				29	立戸3丁目南	49	防鹿	22	○	あり	66	松ヶ原町	34	○	あり	
11	新町1丁目	7	○	なし	30	立戸3丁目北				30	立戸3丁目北	50	穂仁原	23	○	あり	◎ 栗谷連合会					
12	新町2丁目	8	○	なし	31	立戸4丁目		×	あり	51	比作	24	○	あり	67	広原	35	○	あり			
13	新町3丁目	9	○	なし	32	小方1丁目南		×	あり	52	安条	25	○	あり	68	谷尻	36	○	あり			
◎ 油見連合会					33	小方1.2丁目北	17	○	あり	53	前飯谷	26	○	あり	69	後原	37	○	あり			
14	油見1丁目	10	○	あり	34	小方2丁目	18	○	あり	54	後飯谷	27	○	あり	70	小栗林	38	○	あり			
15	油見2丁目					×	なし	35	晴海		×	なし	55	阿多田区		×	あり	71	大栗林	39	○	あり
16	油見3丁目							◎ 御園連合会					自主防(自治会関連)					40	○			
17	南栄1丁目	11	○	なし	36	御園1丁目		×	あり	自主防(自治会無関係)					1	○		その他の組織				
18	南栄2丁目		×	なし	37	御園2丁目		×	あり	自主防のない自治会					17	×		聴覚障害者防災連絡協議会				
19	西栄1丁目	12	○	なし	38	三ツ石		×	あり													

呼びかけ体制・大竹市の状況

ステップアップ訓練
10%(4組織)完了

R5.4.1現在

自主防災組織		集合訓練 DIG/WS/MTL		ステップアップ訓練		自主防災組織		集合訓練 DIG/WS/MTL		ステップアップ訓練	
		実績		実績				実績		実績	
		○済/未	年/月	○済/未	年/月			○済/未	年/月	○済/未	年/月
1	新町1丁目	済	R2/11	済	R3/11	21	御園台	済	R3/10	未実施	
2	本町2丁目	済	R2/11	済	R3/12	22	玖波1丁目	済	R3/10	未実施	
3	元町1丁目	済	R2/11	済	R4/5	23	玖波4丁目	済	R3/10	未実施	
6	白石1丁目	済	R2/11	済	R5/2	24	玖波5丁目	済	R3/10	未実施	
4	元町2丁目	済	R2/11	未実施		25	玖波8丁目	済	R3/10	未実施	
5	元町4丁目	済	R2/11	未実施		26	後原	済	R3/10	未実施	
7	新町2丁目	済	R2/11	未実施		27	小栗林	済	R3/10	未実施	
8	新町3丁目	済	R2/11	未実施		28	大栗林	済	R3/10	未実施	
9	南栄1丁目	済	R2/11	未実施		29	谷和	済	R3/10	未実施	
10	小島連合	済	R2/11	未実施		30	小方1.2丁目北	済	R4/3	未実施	
11	立戸連合	済	R2/11	未実施		31	白石2丁目	済	R4/11	未実施	
12	黒川連合	済	R2/11	未実施		32	西栄1丁目	済	R4/11	未実施	
13	港町1丁目	済	R2/11	未実施		33	東栄県営	済	R4/11	未実施	
14	防鹿	済	R2/11	未実施		34	北栄県営	済	R4/11	未実施	
15	穂仁原	済	R2/11	未実施		35	玖波7丁目	済	R4/11	未実施	
16	比作	済	R2/11	未実施		36	松ヶ原町	済	R4/11	未実施	
17	安条	済	R2/11	未実施		37	小方2丁目	未実施		未実施	
18	前飯谷	済	R2/11	未実施		38	大人原.大迫	未実施		未実施	
19	後飯谷	済	R2/11	未実施		39	広原	未実施		未実施	
20	油見連合	済	R3/10	未実施		40	谷尻	未実施		未実施	
						組織数		済	36	済	4
								未実施	4	未実施	36

集合訓練 90%(36組織)完了
⇒R4年度で終了・今後、個別に対応

令和5年度事業説明

- 1 自主防災組織設立支援
- 2 呼びかけ体制（ステップアップ訓練）
- 3 個別対応（相談指導・研修・訓練）
- 4 防災リーダー（新規・フォローアップ研修）
- 5 その他（助成制度の紹介）



1 自主防災組織設立支援

⇒ イベントを探す ⇒ 募集を探す ⇒ 施設を探す ⇒ 組織から探す キーワード検索 Google 提供

現在の位置 [ホーム](#) > [組織から探す](#) > [総務部](#) > [危機管理課](#) > [業務案内](#) > [防災](#) > [自主防災組織](#)
> [自主防災組織（必要性と設立方法の解説）](#)

自主防災組織（必要性と設立方法の解説）

■ 自主防災組織とは

【自主防災組織とは】

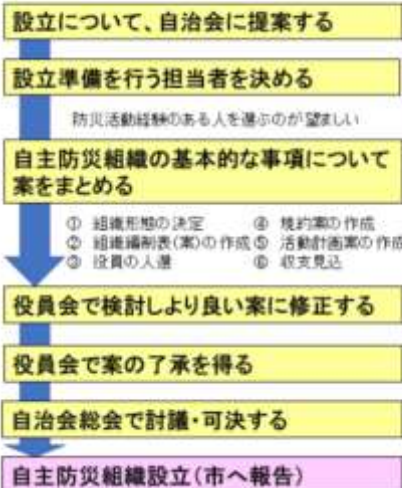
地域の住民同士が
運営などを行うため

構成としては、

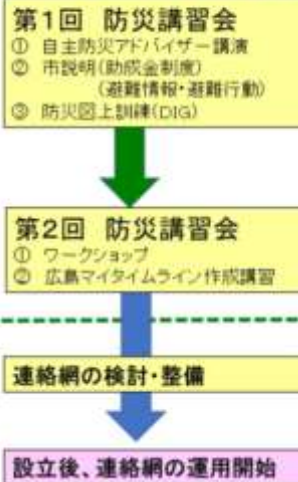
- 1.自治会単位の組織
 - 2.複数の自治会による
 - 3.自治会と関連した
- などの組み合わせが

自主防災組織設立手順

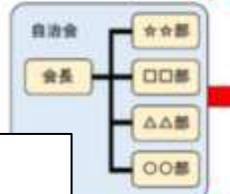
自治会内の活動



県・市による設立支援・講習会



自主防災組織の組織形態



内部組織型

- 1 自治会の内部に防災部を設置
(1) 既存の部に防災を追加
(2) 防災部を新設
- 2 防災業務は、防災部が実施
- 3 自治会規約の改正が必要



重複型

- 1 自治会と同じ編成・構成員のまま別組織として設立
- 2 防災業務は、組織全体で実施
- 3 新たな規約作成が必要



別組織型

- 1 自治会と異なる編成・構成員で別組織として設立
- 2 構成員の長期固定化も可能
- 3 防災業務は、組織全体で実施、担当の細分化が可能
- 4 新たな規約作成が必要



自主防災組織

自主防災組織（必要性と

スマホで確認⇒



呼びかけ体制

■ (大竹市) 呼びかけ体制 (構築事業) について

大竹市では、下記の計画で、呼びかけ体制の構築事業を推進しています。

■ 1 防災セミナー (広島県・大竹市共催)

ステップ1の実施項目です。全自主防災組織を対象に毎年1回開催します。従来から実施してきた(大竹市)自主防災育成研修会を兼ねています。

- [防災セミナー \(令和5年度\)](#)
- [\(大竹市リンク\) 令和4年度・防災セミナー \(研修資料\)](#)

■ 2 集合訓練 (広島県・大竹市共催)

未参加の自主防災組織を対象とします。より多くの組織に経験してもらうことを目的とします。参加する自主防災組織毎に代表4名程度で1つの班を構成し、他組織から参加した別の班と合同で実施します。複数の自主防災組織合同で開催し、ステップ2・3 (DIG・WS・MTL) を行います。この訓練を終了した後は、下記のステップアップ訓練に移行します。

令和4年度をもって終了しました。

- [\(大竹市リンク\) 呼びかけ体制・集合訓練\(DIG・WS・MTL\) \(実績\)](#)

■ 3 ステップアップ訓練 (広島県・大竹市共催)

主に集合訓練を終了した自主防災組織を対象とします。スキルの定着を目的とし、呼びかけ段階までの訓練を終了します。単体の自主防災組織で開催し、以下を実施します。

手順



● イベントを探す ● 募集を探す

現在の位置 [ホーム](#) > [組織から探す](#) >

避難の呼びかけ体制

■ 避難の呼びかけ体制とは

正式には「自主防災組織による避難の呼びかけ体制」です。
令和2年度から、広島県消防保安課が各市町

平成30年7月豪雨の教訓に基づき、住民に呼びかけ方法などのルールを決めて、自主防災組織の仕組みづくりです。

各々の組織にあった呼びかけ体制をつくるために、ルールを決めていく必要があります。

体制づくりのプロセス

呼びかけ体制づくりは、次の5つのステップで行います。
ステップ1 防災意識の醸成 (セミナーなど)

用語の説明

1 呼びかけ体制とは

令和2年度から、広島県消防保安課が各市町と共同で推進中の事業です。

平成30年7月豪雨の教訓に基づき、住民に早めの避難を促すため、呼びかけを開始するタイミングや、呼びかけ方法などのルールを決めて、自主防災組織が大雨災害に対して、効率的で効果的な呼びかけを行う仕組みです。

各々の組織にあった呼びかけ体制をつくるには、起こりうる災害や組織体系、地域の状況などを考慮して、ルールを決めていく必要があります。

呼びかけ体制づくりは、次に示す5つのステップを基本として進めていきます。



セミナー

DIG

WS

情報伝達
(避難)訓練

振返り

用語の説明

1 DIG(ディグ)とは

Disaster Imagination Gameの略で、直訳すると災害・想像力・ゲームとなります。

この訓練では、地域にどのような災害リスクがあり、どこが危険でどこが安全か、ハザードマップ等を使用し、地図の上で地域の状況を把握する作業を行います。



用語の説明

3 WS(ワークショップ)とは

英語のWorkshopで、直訳すると「作業場」となりますが、「参加者が主体性をもって参加するイベント」の意味で使用しています。

この訓練では、共同作業の形式で「呼びかけのタイミング」や「呼びかけの方法」など避難の呼びかけ体制に必要なルールを作り上げます。



2 呼びかけ体制 ステップアップ訓練

対象 (集合型)DIG/WSが終了した組織

省略型の適用
別途調整

手順	実施項目	時間	標準型	省略型	
0	事前調整会議	1時間	○	なし	適度な 日程間隔 2週間 ~1か月
1	DIG/WS	4時間	○	なし	
3	事前調整会議			○	同一日
4	情報伝達訓練 (又は避難訓練)	3時間	○	○	
5	訓練振り返り				

手順3~5
自主防再組織が計画を作成し
主体的に実施

手順2(連絡網整備)は、組織内で実施

凡例 ○:講師・県・市・自主防が参加

2 呼びかけ体制 ステップアップ訓練

<p>申込方法</p>	<p>本セミナー後、 ①各会長あてに希望調査書を郵送 ②希望ありの場合、個別に日程調整を実施</p>			
<p>×切</p>	<p>7月14日(金)</p>			
<p>対象組織</p>	<p>元町2丁目 元町4丁目 白石2丁目 新町2丁目 新町3丁目 油見連合 南栄1丁目 西栄1丁目 小島連合 東栄県営 北栄県営 立戸連合 小方1・2丁目北 小方2丁目</p>	<p>御園台 黒川連合 港町1丁目 防鹿 比作 安条 前飯谷 後飯谷 玖波1丁目 玖波4丁目 玖波5丁目 玖波7丁目 玖波8丁目</p>	<p>大人原大迫 松ヶ原 広原 谷尻 後原 小栗林 大栗林 谷和</p>	<p>過去実施 済の組織も 再度参加 可能</p>

3 個別対応

対象：主に、ステップアップ訓練が完了した組織

組織の実情に応じて対応

講師：広島県自主防災アドバイザー

規模：自主防災組織毎

構成：最大3構成（状況により設定）

- ① 個別相談・指導
- ② 個別研修会
- ③ 個別訓練

4 防災リーダー(新規募集)

項目	内容
募集	〆切:令和5年9月29日(金)
人数	10名
費用	無料
会場	大竹市役所
日程	1日目 令和5年11月11日(土)終日 2日目 令和5年11月18日(土)午前
申込	大竹市HPから申込書をダウンロード 申込書を記載し危機管理課へ提出

女性と若い方の参加が不足しています。
身近な方で適任者がおられましたら、
推薦をお願いします。



4 防災リーダー(フォローアップ研修会)

項目	内容
対象者	大竹市地域防災リーダーの認定を受けた者
費用	無料
会場	大竹市役所3階 大会議室
日程	令和5年11月18(土)13時～16時
実施要領	HPで公開済 6月に各自宛郵送予定
申込み	必要(参加希望調査票 要回答) 期限 令和5年10月31日(火)
その他	午前中に認定される5期生が合流



5 助成制度

- 設立時（資機材支給）
- 自主防災組織
- 避難の呼びかけ体制
- 宝くじコミュニティ助成金

設立時（資機材支給）

大竹市
Otake City

ホーム 暮らし・手続き 子育て・教育・学び 健康予防・医療・福祉

イベントを探す 募集を探す 施設を探す 組織から探す キーワード検索

現在の位置 ホーム > 組織から探す > 総務部 > 危機管理課 > 業務案内 > 防災 > 自主防災組織 > 大竹市自主防災組織

大竹市自主防災資機材支給要綱

自主防災組織設立時に支給を受けることできる資機材に関する要綱です。

01 大竹市自主防災資機材支給要綱(平成19年6月15日告示第128号)（一括）（PDF：86.5KB）
（PDFファイル：86.6KB）

02 別記様式第1号（第5条関係）（WORD：16.5KB）（Wordファイル：16.5KB）

03 別記様式第2号（第7条関係）（WORD：16.9KB）（Wordファイル：16.9KB）

■ 関連リンク

支給機材例	
機材名	限度数
スコップ	5
のこぎり	1
ヘルメット	10
ハンドマイク	1
懐中電灯	6
ブルーシート	10
カラーコーン	10
コーンベットの	10
コーンバー	5

自主防災組織助成金

大竹市
Otake City

ホーム
暮らし・手続き
子育て・教育・学

イベントを探す 募集を探す 施設を探す 組織から探す キーワード検索 Google 提供

現在の位置 ホーム > 組織から探す > 総務部 > 危機管理課 > 業務案内 > 防災 > 自主防災組織 > 自主防災組織助成金について

自主防災組織助成金について

自主防災組織が地域防災力向上のために活動を行い、費用が発生した場合、助成対象の費用であると認められれば、助成金の交付を受けることができます。

対象となる活動

- (1) 防災訓練
- (2) 地域防災マップ作成
- (3) 避難行動要支援者台帳の作成
- (4) 地域コミュニティを深め共助の促進に寄与する活動等

対象となる費用

- (1) 防災資機材購入
- (2) 活動に必要な消耗品の購入
- (3) 会場使用料
- (4) 講師謝礼等

広島県 大竹市の
魅力いっぱい

大竹市
子育て情報ページ
OTAKE CITY KOSODATE JYOUNDOU PAGE

自主防災組織

- 自主防災組織（必要性と設立方法の解説）
- 防災セミナー（令和5年度）
- 避難の呼びかけ体制

助成額 最大2万円／年
毎年申請可能



避難の呼びかけ体制（助成金）



宝くじコミュニティ助成金

助成額 30～200万円

対象組織 自主防災組織

申請後、審査により対象組織が選ばれます。
本年度申請分の実施要領は示されていません。
例年、8月に実施要領が示されます。
⇒大竹市HPで速やかに公開します。

(個々の組織への連絡は行いません。)

市への申請書提出期限 9月末日(必着)
令和5年度の〆切 9月29日(金)

大竹市
Otake City

⇒ イベントを探す

⇒ 募集を探す

現在の位置 [ホーム](#) > [組織から探す](#) > [宝くじコミュニティ助成](#)

(宝くじ) コミュニティ助成事

■ 令和5年度分(令和4年度申請)

○ コミュニティ助成事業とは

一般財団法人 自治総合センターが実施する事業

宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくり等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的としています。

事業項目は以下の通りです。

- (1) 一般コミュニティ助成事業
- (2) コミュニティセンター助成事業
- (3) 地域防災組織育成助成事業
- (4) 青少年健全育成助成事業
- (5) 地域づくり助成事業

参考

審査が通らず、
6年目で採用された事例あり

